

九州大学・OPACKジョイントセミナー

～農産物の輸出促進に向けた九州大学の取組～

定員**50名**
参加費**無料**

日時

2020年**12月11日(金)** 13:30～

受付開始 13:00

場所

西鉄グランドホテル鳳凰の間

福岡市中央区大名2-6-60

ZOOMウェビナー同時開催

農業は、今後ますます重要になる社会的テーマとして、生産技術の向上や海外輸出に伴う物流など幅広い分野で競争力や安全性が求められています。この課題を解決するためには、産学官連携による地域経済への還元が重要です。

本セミナーでは、日本産農産物の輸出促進に向けた九州大学の取組や、日本産農産物のブランド化、農林水産物の輸出促進に向けた産学官連携、産地連携による国際競争力の強化を紹介します。

プログラム

- 13:30～13:35 主催者あいさつ 九州大学大学院農学研究院 院長 中尾 実樹 氏
- 13:35～13:50 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄の活動について 房 賢貞 氏
- 13:50～14:20 日本産農産物のブランディング戦略 森高 正博 氏
- 14:20～14:50 電場コンテナによる農産物の鮮度保持輸送 山崎 一隆 氏
- 15:00～15:30 青果物混載輸送を可能とする多温度帯コンテナの開発とその品質保持効果 田中 史彦 氏
- 15:30～16:10 日本産農産物の輸出の現状と課題 甲木 敦子 氏
- 16:10～16:15 閉会あいさつ (公財)九州大学学術研究都市推進機構 局長 刈茅 初支
- 16:15～16:45 名刺交換会

講師紹介



房 賢貞 氏 (九州大学 農学研究院 助教)

平成20年九州大学大学院生物資源利用学府博士課程後期課程修了(博士)。九州大学女性研究者キャリア研究支援センター、学術研究・産学官連携本部の研究推進専門員(URA)を経て、平成30年に大学院農学研究院国際農業教育・研究推進センター助教に採用。農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄のプロデューサーチーム(コーディネートユニット)メンバー



森高 正博 氏 (九州大学 農学研究院 准教授)

農産物取引のメカニズム、産地マーケティング、農畜産業における生産財の流通と資源循環などを研究。専門は食料流通経済学、食料マーケティング論



山崎 一隆 氏 (日通商事株式会社 営業企画部 次長)

1985年日本通運株式会社入社。大阪港支店、横浜海運支店、神戸国際輸送支店、グローバルロジスティクスソリューション部、京都支店にて国際物流業務に従事。マレーシア日本通運、シンガポール日本通運の海外駐在経験を経て、現在、日通商事株式会社営業企画部にて生鮮輸送システム開発プロジェクトに従事



田中 史彦 氏 (九州大学 農学研究院 教授)

青果物の輸出促進を目指した鮮度保持技術の開発やコンピュータシミュレーションによるポストハーベスト工程の最適化など、フードチェーンの高度化に関わる研究に取り組んでいる。専門は農産食料流通工学。現在、九州農業食料工学会会長を務めている



甲木 敦子 氏 (九州農産物通商株式会社 海外事業部 部長)

1988年JA福岡園芸連入会。JA全農ふくれん園芸部にて機関誌の編集、野菜・果物の販売担当、福岡事務所長、果樹専任課長を経て、2016年同社へ出向。2018年より海外事業部長として日本産農産物の輸出拡大に取り組む

申し込み方法

九州大学学術研究都市推進機構 イベント情報からWEB申し込み
<https://www.opack.jp/events/>

【主催】九州大学 学術研究・産学官連携本部、公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

【協力】一般社団法人九州経済連合会、公益財団法人九州経済調査協会

